

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
R3	1	日進防災推進連絡会	①「在宅避難」を考える ②「車中泊とテント泊」を考える	在宅避難の具体的な指導資料を作成するとともに、安心して在宅避難が行えるよう啓発活動を行う。	コロナ禍で出前講座は少なかったが(4回実施)、在宅避難の必要性は行政の協力により資料(出前講座募集チラシ1000部、「在宅避難のすすめ」リーフレット800部配布)として多くの団体まで行き届いた。
R3	2	いきいき塾NPO絆	ひとり親家庭食育子育て支援(含む共働き親子)	ひとり親家庭等の子どもに対し、学校の長期休暇など給食がなく親が不在となる日も子どもだけで食事をすることができるよう、調理実習を行う。また、併せて食育の必要性を学ぶ機会を提供する。	7家族(子ども10名、親7名)参加。子ども達も楽しんで調理して食事の大切さを学ぶことができ、さらに児童扶養手当受給者の食育のアンケートで、今後の課題も確認できた。
R3	3	赤池まち灯り実行委員会	赤池まち灯り ワークショップ	赤池まち灯りイベントのPRや、ボランティアへの参加を呼びかける体験型ワークショップを開催する。	2日間(1日30組)合計100基のワークショップを実施。竹あかりに囲まれた中でワークショップ開催する事で参加者は制作後、自身の三角灯籠に灯りを灯す事が可能となった。
R3	4	ラクロサポーター	サスティナブル共育ワークショップ	諸外国や日本の教育、価値観についての先進事例を学ぶとともに、ESD、SDGs、日進市未来をつくる子ども条例について考える機会を提供する。	3日間実施。参加者計46名。参加者、講師共に学生から社会人まで幅広い世代が集まったため、関連な意見交換ができ、視点を広げるきっかけとなった。また、持続可能な共育について、自身の子育てについての気づきが多数見られた。
R3	5	子どもと落語実行委員会	子どもの権利啓発フリーペーパーの制作	子どもたちに、自分自身の権利や自分らしい生き方について考える一助とするため、「日進市未来を作る子ども条例」に関するフリーペーパーを作成し、周知啓発を行う。	1000部配布。成果物を使用して放課後子ども教室で子どもの権利啓発イベントを実施したり、成果物内の子ども座談会に参加した子ども達によって団体が立ち上がるなど、ほかの事業に発展することができた。
R3	6	SDGsアクティベート	「日進市のSDGs発見し隊」YouTube動画チャンネルの開設	市内で活動する団体等に対し、SDGsに関連する活動についてインタビューした動画を撮影、YouTubeチャンネルで配信する。	団体紹介に加え、日進市内の自然の様子、本団体で行ったESD講座を掲載するなど、発展した動画掲載をおこなった。
R3	7	日進LOVEラボ	にぎわい交流館のキッチンを使用した学童へのお弁当販売計画事業	学童保育に通う子どもを持つひとり親家庭等に対し、夏休み中の子どもの昼食を準備する負担を軽減させるため、にぎわい交流館のキッチンで調理した昼食弁当を学童保育所に届ける。	市内2ヶ所児童クラブにて5日間開催。54名児童、243食販売。アンケート結果から事業のニーズが高いことを把握。また、団体や学生など多くの人と連携し実施することができた。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
R3	8	にっしん地域猫の会	「地域猫活動」で人と猫が共生できるまちづくり	野良猫トラブルを地域の環境問題と捉え、猫トラブルだけでなく地域の環境美化や共助の関係性を構築することを目的とし、図書館でのパネル展示等、啓発活動を行う。	パネル展を2回実施(来場者計45名)し、地域猫に興味のある方、猫で困っている方と繋がりができた。また、回覧によりおよそ27000戸への地域猫活動の啓発をおこなった。
R3	9	特定非営利活動法人Earth as Mother	にっしん生活困難を抱える若者・ひきこもり支援に関する交流会	生活困難を抱える若者やひきこもりの実態の周知と、支援制度の理解度向上等を図るため、事例発表や意見交換会を含めた講演会を開催する。	20団体35名参加。愛知県・日進市庁内・関係機関・近隣自治体・民生児童委員への案内を経て、目的を伝えながら、有機的なつながりを創るネットワークへの第一歩となった。
R2	1	スペシャルニーズの子ども達と共に育む会スマイル	スペシャルニーズの子ども達と共に育むあゆみ	スペシャルニーズの子ども達のサポート事業を200冊冊子にして紹介を行う。	情報を必要としている方々へ冊子にすることで発信することができた。
R2	2	日進防災推進連絡会	①災害時要援護者の登録と要援護者への対応を促進する活動 ②高層マンション居住者の防災	防災フェア・防災訓練を通じて組み立ての指導を推進した。会員の自己啓発の課題としても取り組んだ。高層マンション居住者の防災は、会員所属自主防災等の聞き取りを実施した。	新型コロナウイルスの拡散により当初計画が未達成に終わったものの、会員および役員の勉強会など自己啓発に時間を充てられた。
R2	3	香久山ワンコインサービス	香久山区ワンコインサービス事業	香久山地区の住民に対し、軽度な日常生活の援助を行うことにより、住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整え、また、高齢者に対する経済的な負担を軽減するために行う、有償ボランティア活動。	自治会員だけでなく区民全体を視野に入れた活動が可能となる、まちづくり協議会とワンコインサービス事業の一体化ができつつある。
R2	4	いきいき塾NPO絆	フードパントリー絆トライアル	フードドライブで食材を安定的に、フードパントリーで配布ができるようにするための事業	コンビニの協力並びに個人からの食材の寄付が集まり、講演会ではフードパントリーの必要性を訴えることができた。
R2	5	子どもと落語実行委員会	おとなも子どもも寄っといで！みんなでのしむ落語会	老若男女参加できる落語会を開催。当日参加者には「日進未来をつくる子ども条例」についての資料を渡し、会の最初に条例について説明をした。	親子での参加者も多く、親子で条例について考える機会を作ることができた。また、条例の周知も行えた。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
R2	6	赤池まち灯り実行委員会	赤池まち灯り2020竹あかりワークショップ	地域住民と共に、赤池まち灯りで使用する竹あかりと三角灯籠を作成するワークショップを開催。	新型コロナウイルス感染症対策を実施し、ワークショップを開催することができた。地域住民の方にも幅広く活動を知ってもらいきっかけとなり、ボランティアも20名活躍していただいた。
R2	7	ラクロサポーター	共育で大切なことって何だろう？2	共育、自己肯定感をテーマをキーワードにゲスト講師のお話を聴いて、質疑応答、およびテーマに関するグループワークを3日間行う。 ①11月7日「子どもの権利」って知ってる？ ②12月5日「発達段階に応じた育ち」って知ってる？ ③1月9日「諸外国の教育」って知ってる？	オンラインで海外と中継で結ぶという新しい手法を手に入れることができた。 各テーマごとに闊達な意見交換ができ、参加者、講師共に学生から社会人まで幅広い世代が集まったため、お互いに刺激をもらう時間になった。
R1	1	香久山区ワンコインサービス	香久山区ワンコインサービス立上事業	香久山地区の住民に対し、家事援助等専門的な技術を必要としない軽易な作業を行うことにより、住み慣れた地域での安心できる環境を整える有償ボランティア活動	主な作業として草刈り、庭木の剪定、家具の移動などを月6件程度おこなった。 また、ふれあい盆踊り大会ではワンコインサービスの宣伝もおこなうことができた。
R1	2	女性が輝く場作り mama-s	女性が輝ける場所づくり～キラキラマルシェ	女性の輝く場作りに寄与することを目的とし、自分探しの場所にもなるマルシェを開催。	新聞社の取材や広報誌の掲載を利用したこともあり、2回開催したマルシェでは人気のブースは予約満席になるなど多くの方に来場してもらい、マルシェがステップアップの場としての役割を果たせた。
R1	3	スペシャルニーズの子ども達と共に育む会スマイル	子どもの発達について	発達障がいの子どもたちが笑顔で学校生活を送れるように、親同士がともに学びあいつながりを持てる場として、座談会を開催。	「環境の整え方」や「伝え方の工夫」など脳の発達を研究してサポートする講師を招いて、2回座談会を行った。
R1	4	CoderDojo日進	CoderDojo日進2019年度プログラミング道場開催	プログラミングに興味がある子どもに気軽に体験する機会を提供するために、毎月2回小学生を対象にプログラミング道場を開催。	計17日開催。初心者・初学者にはプログラミングを気軽に体験する機会を作ることができ、また、プログラミングが好きな子供達には、サポートを受けながら自分が作りたいものを発表する場を提供することができた。
R1	5	梅森台「わ」の会	防災訓練	地域の方が防災意識を高め、減災につなげるために地震体験、家具の転倒による下敷き体験などを企画。また、災害時のトイレ問題を取り上げる。	資料を見て説明することにより、簡易トイレの重要性を理解していただいた。また、家具の転倒防止対策ではポイントを説明。上記内容の説明のため防災士を配備するなどして、正しい知識を多くの方に理解していただくことができた。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
R1	6	日進LOVEラボ	イベントで集客することを考える講座	日進市内で暮らす人々の交流する場作りのために、イベントの始め方についての相談を受けたり、自身の活動へ繋げる。	7月に開催されたにしんわいわいフェスティバルへの出展者を対象とした講座を開催。当日は講師による講義やグループワークをおこなった。
R1	7	日進音楽協会設立準備委員会	2019にしん オト*ヒトフェス	フェスを通じて持続可能な街づくり、日進市を音楽であふれる街にしていく為の音楽祭	新しく「にしんオトヒトオーケストラ」が設立され披露することができた。 正式に「日進市音楽ネットワーク」の設立。
R1	8	日進防災推進連絡会	災害時要援護者をどのように避難誘導するか(誰が)	出前講座を通じて要援護者の避難誘導について啓発活動を実施。また、訓練時の災害時要援護者の積極的参加を啓発し、これらの訓練を通じて会員自身のスキルアップを図る。	作成資料を会員全員が共有でき、布タンカの活用も十分啓発できた。また、各講座に多くの会員が携わることが多くなり、今後も福祉関係組織からの依頼も多く継続予定。
R1	9	日進市地区日赤奉仕団	・日本赤十字社(救急法・幼児安全法・健康生活支援講習)講習会配布資料 ・日進市地区日赤奉仕団加入推進パンフレット ・今後の各講習事業増加推進パンフレット	救急隊に引き継ぐまでの一連の動作を資料にして配布。幼児、乳幼児の救命処置の資料を配布。避難所で快適に過ごすための資料を配布。若年層向けの奉仕団加入促進パンフレット作製。講習会增加を目指しパンフレット配布。	パネル掲示することにより実技指導に時間をさけた。 パネル掲示して説明をし、さらに作成した資料を配布することにより、深い理解と人命の尊さを教えることができた。
R1	10	めぐみの会	がん検診啓発事業	患者が中心になってがん検診の啓発をする事で、その必要性を知っていただき、恐怖心を少なくすることで検診を促す。 ・11月の健康福祉フェスティバルでのがん検診の啓発&アンケート実施 ・健康ホットカフェの実施 ・がん経験交流会の実施	健康課と協働でがん検診啓発活動を行った。 健康ホットカフェは毎月第1, 3金曜日にぎわい交流館にて開催し、毎月第2金曜日にはがん経験者ランチ交流会をにぎわい交流館にて開催。
R1	11	NPO法人日進野菜塾	生ごみや落ち葉を、たい肥化・循環利用する「コンポストサポーター」づくり	段ボールコンポスト(段ボール箱を利用した生ごみを処理する容器)講座を開催。さらにはたい肥活用講座、落ち葉たい肥講座も開催し、「循環」をすすめる市民づくりをすすめる。	環境面で意識の高い市民の参加が得られた。 「段ボールコンポストで野菜栽培を楽しむクラブ」を開始することとなった。
R1	12	ラクロサポーター	共育で大切なことって何だろう？	共育、自己肯定感をテーマをキーワードにゲスト講師のお話を聴いて、質疑応答、およびテーマに関するグループワークを3日間行う。 ①7月21日「ヨーロッパの教育」って知ってる？ ②8月25日「未来をつくる子ども条例」って知ってる？ ③9月22日「自分の強み」って何？	ESD,SDGs、未来を作る子ども条例の周知を、他団体の方たちと連携して行うことができた。 学ぶだけでなく、実生活に落とし込むところまで考えてもらえた。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
R1	13	子どもと落語実行委員会	落語で感じる「未来を作る子ども条例」フリーペーパーの発行	「未来を作る子ども条例」を落語の絵本形式で掲載し、落語の知識などと織り交ぜながら楽しく条例の理念に触れて、条例の内容を知ってもらう。	行政発行のパンフレットとは違ったタイプのものを作ることができ、普段行政や条例にあまり関心がない層に届けることができた。 「未来をつくる子ども条例10周年事業」で配布するなど、行政や他団体の子ども条例に関するイベントに参加するなど、他団体との関わりを持つことができた。
R1	14	日進絆子ども食堂	夏休みの自由研究題材を探しちやおう！イベント・part2	市民活動団体や大学生のグループが、子供たちの夏休み自由研究のヒントと出会ってもらうためにワークショップをプライムツリーにて行う。	新しい形の、市民活動団体主催の市民とのふれあいと出会いの場づくりとなった。 夏休みの初めからじっくり取り組めるような自由研究の題材を、子供たちが自分で選ぶ機会を作ることができた。
R1	15	特定非営利活動法人スマイルハウス	子どもの生活自立支援事業	食事作り、ミシンの使い方、夏休みの宿題等、子どもの生活自立への手助けを行う。 夏休み期間のうちの計10日10時～17時に、上記の内容の寺子屋を開催。	高齢者の体験を通して、社会性を伝えられた。また、高齢者の長所を生かして人間育成もできた。 ふさぎごみがちな親御さんも含めて心のケアができた。
R1	16	(公財)アジア保健研修所	2030年未来への旅！SDGsゲーム体験会	SDGsについて市民が関心を持ち、知るための機会として「SDGsゲーム体験会」を7月26日に開催。	ゲームを通してSDGsが生まれた背景について参加者の理解を深めることができた。また、主催団体のイベントを利用し体験会での学びを広く一般に伝えることができた。
30	1	日進防災推進連絡会	防災出前講座の実施	何回トラフ巨大地震の発生確率が30年以内に80%と差し迫っていることを認識し、個人や家庭が如何に減災行動をとるかを防災出前講座を通して意識向上を図り被害の減少をはかる。	地域では住民から、老人ホームでは入居者は勿論、管理者・スタッフの方々から地震に対する備え、心構えが認識できたとの声を多く頂いた。東中学校からは避難訓練の後で話を聞くことができ、大変参考になり有意義であった。他の学校にも紹介すると言って頂いた。
30	2	めぐみの会	めぐみの会 がん患者さん集いの場	がんになっても、明るく、楽しく、幸せに生きることが出来る環境を作るために、がんの患者会活動を地域の方に知っていただく活動。内容は、①他の市民活動団体も巻き込んでのイベント開催、②定期的な患者さん交流会の開催、③患者会活動を知っていただくための活動	他の団体の活動の場をつくることで団体間の連携が強化され、たくさんの方を呼ぶことができた。またマルシェを継続的に開催することができ、広く活動をPRすることができた。
30	3	BnBn	グラフィックデザインを学ぶ学生と効果的な広報をしたい団体(または個人)のマッチング	「学生と社会をつなぐ中間支援団体」として、広告デザインを頼みたい大学外の人と、大学デザインなどの専門分野を学んでいる人をつなぐことで依頼主には安価でチラシデザインを提供し、学生にはデザインの実践の場を提供する。	3案件を達成することができた。マッチングによるチラシデザインや、イベントのプロジェクトメンバーの立ち上げなどのサポートを行い、依頼者、学生ともにWIN-WINの関係を作ることができた。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
30	4	日進音楽協会設立準備委員会	日進街中音楽祭	市内の店舗、にぎわい交流館、愛知牧場など多岐に渡る場所で計12回の街中音楽祭を行い、観光振興、人的交流の活性化に貢献する。	12回の街中音楽祭で3,000人を超える来場者があった。身近な場所で開催したことで、老若男女、障がいのある方もどなたでも参加しやすい状況が作れ、これからの観光振興、人的交流の場作りが出来た。
30	5	場リスタNext	地域とつながろう！NPO出張講座	テーマ型NPOと地縁型NPOをつなぐための出前講座カタログの作成とテーマ型NPO・地縁型NPO・地域住民との交流を目的とした出前講座のカタログ紹介と掲載講座の体験、懇親会の開催。	出前講座カタログの作成と配布により、新しいつながりが生まれ、喜んでもらえ、早々にカタログが活用され、活動の振り返りやまとめをする機会となった。また、地域とつながる交流会～縁JOINの開催によりいつもとちがうひとたちと出会え、その場で出前講座のマッチングができ、場リスタNext自身のスキルアップにつながった。
30	6	日進絆子ども食堂	夏休みの自由研究題材を探しちゃおう！イベント	小学生の夏休み自由研究の題材になりそうなワークショップなどを市内の市民活動団体に出品していただき、大学生ボランティアがサポートする取組を全3回実施。2017年度に行った事業から出た気付きを活かして多くのかたに参加していただけるように開催形態を変更。	親子づれや多くの市民の方に市民活動を知っていただく場をつくり、子どもたちの学びの機会を増やすことができた。大人や学生たちと子どもたちが和気あいあいと楽しくワークショップに取り組むことができ、自由研究を前向きに捉えることができた。
30	7	公益財団法人アジア保健研修所	2030年未来への旅！SDGsゲーム体験会	持続可能な社会・地球環境を作るために、世界のだれもがその実現に向けて参画し、協働することが望まれる目標「SDGs」について、市民が関心を持ち、知るための機会として、気軽に参加できる「SDGsゲーム」の体験会を開催する。	ゲームを通して、世界の状況に無関心であったり、自分の行動が及ぼす影響に無自覚であったりすることが、将来の社会や地球環境の存続を危うくすること、またそれを回避するためには様々な立場の人たちが協働することが必要である等SDGs及びそれが生まれた背景について理解を深めることができた。
29	1	ほんごう自主防犯パトロール会	地域住民と一体となった防犯対策	見せる防犯を心がけ、パトロール時に防犯ベスト、ノボリ、タスキ、ハンド板を活用し、不審者を寄せ付けない環境づくりを実施。	経年により傷んでいたノボリを交換したことで、防犯対策に力を入れていることを見せることができた。
29	2	日進音楽協会設立準備委員会	日進音楽協会設立に向けての準備事業	音楽協会設立のための学習会を開催、音楽協会設立に向けた音楽祭「オト*ヒト フェス」を市民会館大ホールにて開催。	音楽祭の入場者数は、930名、出演団体6団体、出演者136名にのぼり、盛大に開催することができた。
29	3	日進市地区日本赤十字奉仕団	日本赤十字救急法(一次救命処置)の普及事業、日本赤十字幼児安全法の普及事業	多くの命を救うことを目的とし、幼児安全法及び救急法の技術と知識を学べる拡大パネルを名古屋学芸大学の学生と作成。そのパネルを利用し、講習要望を受けた団体へ訪問指導を実施。	子どもや保護者に対し、幼児安全法・救急法の技術と知識を指導することができた。そのことにより、一次救命処置が可能な人が増え、より多くの命を救える可能性が広がった。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
29	4	日進防災推進連絡会	乳幼児を地震から守る啓発講座	乳幼児のいる家庭を対象として熊本地震における避難体験をベースに構成した地震・防災対策講演とアレルギー対応も含めた簡単調理法を説明した講演を実施。非常持出品、家具等転倒防止器具、電源自動遮断器具、被災地の写真等を展示し説明。	乳幼児を持つ親(家族)の防災意識、子どもを守る心得や避難したときの周囲の環境への対処方法、非常時の簡単調理法など多くのことを伝えられ、参加者の理解が深まった。今後の啓発活動への期待も多くあった。
29	5	めぐみの会	めぐみの会がん患者さん集いの場	がん患者さんや市民を対象に交流会、がん相談、がん情報コーナー、飲食ブース等を設置した「歌と癒の交流マルシェ」を開催。また定期的な患者さんの交流会の開催や患者会活動の啓発活動を実施。	他の団体の活動の場をつくることで団体間の連携が強化され、たくさんの来場者を呼ぶことができた。また広く活動をPRすることができた。
29	6	マシュマロドゥー「2匹のねこ」	障害のある方のための移動教室、マシュマロドゥーで「ケーキ屋さんになろう！」	マシュマロと粉砂糖からできた砂糖菓子のマシュマロドゥーの特性を活かして障がい者就労支援に繋がる日進市オリジナルスイーツの作成。	市内における生活介護施設や児童通所施設の代表者へマシュマロドゥー体験会を開催し、社会福祉法人「愛歩」と提携。オリジナルスイーツの一般販売や「ケーキ屋さんになろう！」のイベントで障がい者の方の工賃を7～300倍にすることができた。
29	7	日進絆子ども食堂	子どもと大人ペアで対抗！夏休み自由研究プロジェクト！	小学生の夏休み自由研究を地域の大人ボランティアや大学生ボランティアがサポートする取組を全3回実施。第3回は、自由研究の成果品の発表会を実施。	地域の子どもたちと大人たちが和気あいあいと楽しく自由研究に取り組むことができ、自由研究を前向きに捉えることができた。また、発表会を設けたことで、普段では経験できないことが経験でき、よき機会となった。
29	8	南ヶ丘福祉まちづくり協議会	よくばり元気塾～頭も・心も・体も生き生きしたい！	南ヶ丘区及び近郊住民を対象に、高齢者の健康寿命の延伸、介護予防のための学習と体験でコミュニケーションを深める機会づくりを目指し、全7回の「よくばり元気塾」を実施。	昨年に引き続き2年目となるが、今年は香道、口腔ケア、健康食品・サプリ、調理・会食など、さらに充実したプログラムを実施した結果、昨年を上回る199名(1回平均約28名)の参加者を得ることができ、地域の高齢者の心身の総合的な健康づくりの成果をあげることができた。
29	9	一般社団法人めぐみガンサポート協会	がん何でも相談窓口	がん患者さんを対象に地域社会におけるがんとの共生をめざし、月2回「がん何でも相談窓口」を開設。	市民への幅広い告知により、相談窓口を担当する人材を市民から3名発掘及び育成することができた。
29	10	場リスタNext	場づくりマスター育成事業	「日進に携わるすべての人が、つながりを感じる居場所があるまちづくり」の推進に向け、場づくりを担う人材の育成及びネットワーク形成をめざし、研修会や勉強会を実施。	研修会や勉強会を実施したことにより、多様な団体・人の参加があり、ネットワーク形成にもつながった。また課題やカイテツ方法の明確化を図ることができた。

日進市市民自治活動推進補助金交付事業実績(平成29年度～令和3年度)

年度	No.	団体名	事業名	事業内容	事業成果
29	11	平子台ふれあいサロン	子どもの育成事業	平子台ふれあいサロン、シニアクラブが地域の子ども達と交流を行い、子ども達の育成、見守り、また高齢者の生きがい創出に寄与する。	イベント運営に子育て世代も積極的に参加し多世代交流を図ることができた。自治会がイベント機材や食材を負担してくれた。子どもたちからはもっとちがう料理を作りたいといった前向きな意見が聞かれた。
29	12	RISE@日進	チャイルドシート取り付けサポート事業	安心安全に暮らせるまちづくりに寄与するため、適正なチャイルドシート取り付け方法を習得するイベントを実施。	プライムツリー赤池、JAFと連携し、多くの市民へ適切なチャイルドシートの使用方法を伝えることができた。